

平成 25 年度 第 2 回 新河岸川流域川づくり連絡会 議事要旨

平成 25 年 8 月 28 日（水）清瀬市 野塩地域市民センター 第二会議室

項目	内容
I. 議事	
1. 平成 25 年度第 1 回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨	平成 25 年度第 1 回連絡会の内容が連絡会メンバーに承認された。
2. 第 9 回川でつながる発表会について	第 9 回川でつながる発表会について連絡会メンバーによる意見交換が行われた。 ■主な意見 ○現地見学ポイントについて ・かわごえ環境ネットからの情報提供等により見学ポイントを追加する。 ・仙波河岸記念史跡公園の周辺において、過去に新河岸川の氾濫による水害が発生した場所があるため、見学ポイントの候補として検討する。 ・新河岸川の河川整備に関する情報についても情報提供できるよう、埼玉県川越県土整備事務所からの資料提供を依頼する。 ○協力団体について ・「つながる 不老川のうた」を“ふじみの少年・少女合唱団”が歌っており、本発表会の趣旨とも近いため、参加協力について検討する。参加依頼をする場合には、不老川流域川づくり市民の会に協力いただく。 ○交流会企画について ・交流会企画案 1”パネルセッション”について、新河岸川流域における昔の写真の所在について、連絡会メンバーは事務局まで情報提供を行う。 ・交流会企画案 2”取り組もう水循環”について、参加者の属性区分を精査する。
3. 里川 72 号について	事務局より発表会の開催日時の設定に伴い発行時期を 11 月末頃に延期する旨の連絡を行い、連絡会メンバーに承認された。
II. 勉強会	
東京都建設局より「中小河川における都の整備方針—今後の治水対策—」と題して、過去の災害データや近年の集中豪雨の被害状況などをもとに、河川整備水準の引き上げなどの東京都の整備方針に関する説明を頂いた。 ■主な意見等 ・雨水を資源としてとらえることが重要であると思う。 →東京都都市整備局では流域対策として、雑水利用や雨水浸透を実施している。 ・貯めた雨水について、今後さらなる活用方法を検討していく必要があると思う。 ・河川内の樹木を伐採した方が良いのか今後検討していく必要がある。 ・降雨による流量分担計画や河川計画を都市計画マスタープランなどの上位計画に位置付ける際には、カナダや韓国における事例も参考になると思う。 ・東京都で総合治水対策をとりまとめている担当窓口はあるか。 →都市整備局でとりまとめている。 ・総合治水対策の効果を実感できるようにした方が良い。 ・避難について、市民への情報伝達はどうなっているのか。 →都が雨量や河川水位などの情報を市町村に提供し、それを受けて市町村が水防活動や避難行動を判断し、市民に情報を伝えている。	
III. 情報交換	
◆事務局からの情報提供 ・10 月 19 日いい川づくりの関東大会が開催予定。 ◆平成 25 年度第 3 回連絡会開催について ・第 3 回新河岸川流域川づくり連絡会は 11 月上旬～中旬を候補日として、勉強会を依頼する埼玉県と調整の上、日時・場所を決定する。	

以上